

# 令和元年度九州ブロック担当者会同 広報部協議事項

座長 沖縄会 広報部長 近藤哲司

1	議 題	土地家屋調査士制度70周年記念事業について
提案議題 提案理由	福岡会	<p>(提案議題) どのような企画をされますか？</p> <p>(提案理由) 来年の会の事業として70周年記念事業を計画しており、現在企画の段階で他会の皆様がどのような企画をされているか参考にさせていただければと思います。</p>
	佐賀会	<p>(提案議題) 記念事業の対応についての情報を共有したい。例えば、各地にある有名な未登記シンボル建物の表題登記の実施？</p> <p>(提案理由) 広報部での活動なのか？社会事業部での活動なのか？各単位会の状況報告をよろしくお願いします。</p>
	長崎会	<p>(提案議題) 単位会で何か記念事業等を考えているのでしょうか。具体的な事業が定まっていれば内容においても教えて下さい。</p> <p>(提案理由) 長崎会では記念事業及び記念誌の発行を考えておりますが、他にもおもしろそうな企画があれば参考にさせていただきたいと思えます。</p>
	鹿児島会	<p>(提案議題) 何か計画しているか。</p> <p>(提案理由) 50周年、60周年は新聞に名刺広告を掲載したが今回は費用対効果で会員から疑問の声も出ているため、各会はどのような事業を考えていらっしゃるかお伺いしたい。</p>

<p>回 答 意 見</p>	<p>(1について)</p> <p><b>【福岡会】</b>  まだ企画案を各部から上程している段階で対外的なもの(一般市民向け)にするか対内的なもの(会員向け)にするのかを検討している段階です。</p> <p><b>【佐賀会】</b>  活動は未定  未登記シンボル建物の表題登記の実施?を企む</p> <p><b>【長崎会】</b>  ソフトボール大会や記念誌の発行を計画しております。  ソフトボール大会については長崎会だけではなく法務局、司法書士会、弁護士会などにも声掛けをして開催することを検討しています。  又、世界遺産に登録された教会の建物表題登記を行う計画を立てている支部もあるので長崎会も支援を行う予定としております。【ドローン(支部会員)や3Dスキャン(メーカーの協力)を使用する]  フランスのノートルダム大聖堂の火災もあり点群データの保存が社会貢献となるのではないかと考えです。</p> <p><b>【大分会】</b>  大分県中津市留守居町586番地「福沢諭吉旧居」の建物表題登記を計画しています。  現在、中津市に要望中です。</p> <p><b>【熊本会】</b>  70周年事業として、不動産登記等の業務に関連しない著名人を招いての講演会等の開催を検討しています。</p>
--------------------	--

<p>回 答 意 見</p>	<p>(1について)</p> <p><b>【鹿児島会】</b> 提案理由のとおり、本会ではまだ何の計画もないところです。</p> <p><b>【宮崎会】</b> ご当地にあるシンボリックな建物の表題登記をとして検討している。 (宮崎県庁の本館)</p> <p><b>【沖縄会】</b> 沖縄会は平成 27 年度に創立 50 周年記念式典を行い、次年度に記念誌を発行して各会へも配布しております。(50 周年記念誌) 70 周年の予定はなく、会長が各会に呼ばれたらお祝いに行くことになると思います。 各地にある有名な未登記シンボル建物の表題登記の実施については、公職協会で行っているようです。会として事業計画はありませんが、協会から協力要請があれば、事業協力は社会事業部が対応、広報活動の要請であれば広報部で対応することになると思います。</p>
--------------------	--

2	議 題	会報について
提案議題 提案理由	佐賀会	<p>(提案議題) 調査士会報の現状と対応についての報告をお願いしたい。</p> <p>(提案理由) 現在の佐賀県会の広報活動状況が他県会の皆さんとどのような違いがあるか？ 今後、佐賀会における参考例や成功例など取り入れできるような内容があるのを期待しております。</p>
	大分会	<p>(提案議題) 連合会会報誌及び単体会会報誌等で、会員に寄稿の依頼をする場合に不平不満なく協力してもらう方法があったら教えてください。また、寄稿に対する報酬はどの程度か教えてください。</p> <p>(提案理由) 当会において、快く協力していただける体制、環境ができておらず、広報部長が書かざる得ない状況が続くため。</p>
	熊本会	<p>(提案議題) 取り組まれている次の広報事業につき、特に工夫されている点など、ご教示頂ければと思います。 会報の発行回数、内容、原稿の集約方法、印刷の有無。</p> <p>(提案理由) 皆様の事業活動を知ること、より効果的な広報を実施すべく、ご教示頂ければと思います。</p>
	鹿児島会	<p>(提案議題) 会報について。</p> <p>(提案理由) 鹿児島会は年2回、秋号(9月から10月)、新春号(1月から2月)を紙媒体とホームページに掲載しており、会員や法務局、他士業事務局等へ配付しているが、年々会員からの投稿記事が減少しマンネリ化してきている。 各会はどの様に対処しておられるかお伺いしたい。</p>

回 答  
意 見

(2について)

【福岡会】

年1回1月初旬に冊子版「会報ふくおか」を発刊しております。

1記事につき5000円の商品券を進呈。

年々、過去投稿いただいていたベテラン会員からの投稿が減ってきている傾向があります。

【佐賀会】

年1回、担当者まかせ

会報編集委員を結成(各支部1名、計5名)

冊子のみ

支部長、年男年女、新人会員はほぼ強制的にお願いしている。不平不満はある。

【長崎会】

・長崎会は会報として冊子での発行とWEBでの配信を行っています。又、冊子で発行した会報についてもWEBにて保存し閲覧できるようにしています。

・長崎会では寄稿依頼した際に不平不満等があったことはありません。そのような状況にならないような特別な工夫というのはありませんが、寄稿の締切日に余裕ももたせて依頼するようにしています。又、寄稿していただいた会員への報酬としては挨拶や報告事項以外で個別でお願いする会員についてはクオカード(500円)を贈呈しています。

・会報の誌面内容については、調査士会の事務局の方に各会員が参加した事業(他県会の研修やブロック、日本などで開催される会合等)については報告書が提出されるようになっていきますので、その報告書の中で誌面掲載等を検討しています。

<p>回 答 意 見</p>	<p>(2について)</p> <p><b>【大分会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状と対応状況 <p>去年までは、連載をお願いしていた記事と、2件会員へ依頼していた記事がありました。今年、法務局長・大分会会長・公嘱登記協会理事長・政治連盟会長に新年の挨拶等と、行事を行った支部からの支部便り、あとは、各部長及び広報部でなんとか負担し、残りを広告で埋めているのが現状です。</p> </li> <li>・ 発行回数 <p>年1回（年明け）に、紙媒体とホームページに掲載発行しています。</p> </li> <li>・ 原稿の集約方法 <p>Word、Excel データで事務局にて集約し、印刷会社へメール及びUSBにて受け渡しを行います。</p> </li> <li>・ 配布先 <p>会員、法務局、日調連、他会、図書館、広告協賛会社</p> </li> <li>・ 投稿記事の減少とマンネリ化の対応 <p>寄稿の依頼が非常に困難で、広報部で対応すると、毎年行う行事の報告等になり、マンネリ化は否めません。結果として、興味を惹かない内容となり、読まない会員の増加につながっています。</p> </li> </ul>
--------------------	--

(2について)

**【熊本会】**

・調査士会報の現状と対応

熊本会では年2回、8月の夏号、1～3月の春号を発行しています。発行は紙媒体と、ホームページ上に電子媒体の掲示を行っています。現在のところ、電子媒体のみへの移行は検討されていません。

・不平不満なく協力してもらう方法

熊本会は、県下8支部から広報委員を選出して頂き、原則として1人1記事として、業務に関連する研修会、関連しない各地域の催事等を記事として提供頂いております。

・報酬

クオカード3000円分をお渡ししています。

・会報原稿の集約方法

今期から、グループライン及びドロップボックスを利用した記事の集約ないし校正を行っています。

・マンネリ化の防止

前期までは表紙以外はモノクロ印刷でしたが、今期から、印刷業者の入れ替えを契機として、全頁カラー印刷に移行しました。

・写真を多く、文字を少なく を意識しています。

**【鹿児島会】**

寄稿に対する報酬は常任理事までは年2回の寄稿で調査士手帳一冊です。

会員等は1回の寄稿で3,000円としています。

回 答  
意 見

<p>回 答 意 見</p>	<p>(2について)</p> <p><b>【宮崎会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会報発行は年2回：8月号／1月号</li> <li>・コンテンツは別添のとおりです。</li> <li>・「よもやま話」コラムの寄稿依頼（3名）はPCによる抽選式（会報に公開）</li> <li>・近年、会員の孫さんを表紙に掲載しているが、好評を得ている。</li> <li>・寄稿者（表紙含む）には、1000円分の図書券を贈っている。</li> <li>・会報はホームページには掲載していない。</li> </ul> <p>※本会は毎年定時総会の議事録を掲載していますが、他会は如何ですか？</p> <p><b>【沖縄会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員に寄稿依頼をしているがなかなか集まらない状況が続いている。</li> <li>・寄稿への報酬は5千円、新入会員の挨拶程度で3千円となっています。</li> <li>・年2回印刷、年末のカレンダーと5月の総会資料と同封で発送。今回号は就任挨拶が主になります。基本は会の行事（総会・研修会）と各支部からの報告になります。</li> </ul> <p>会報に興味を持たせるため写真を多く取り入れる工夫をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各支部に広報部員（基本は支部長）を設置し、記事を集めてもらっています。</li> </ul> <p>提案理由は各会と同じ状況です。</p>
--------------------	--



3	議 題	ホームページについて
提案議題 提案理由	佐賀会	<p>(提案議題) ホームページへの対応についての報告をお願いしたい。</p> <p>(提案理由) 現在の佐賀県会の広報活動状況が他県会の皆さんとどのような違いがあるか？</p> <p>今後、佐賀会においての参考例や成功例など取り入れできるような内容があるのを期待しております。</p>
	大分会	<p>(提案議題) 会員専用ページのパスワードについて</p> <p>① 会員専用ページのパスワードは、全会員共通のパスワードを配布しているのか、もしくは会員毎に個々のパスワードを配布しているのか教えてください。</p> <p>また、個々のパスワードを配布している場合は掛かる費用についても教えてください。</p> <p>② ホームページのパスワードは定期的に変更しているのか、変更している場合はその頻度及び掛かる費用について教えてください。</p> <p>(提案理由) 当会の会員より、退会した元会員がいつまでも会員専用ページを閲覧できる環境はいかなものかという指摘があったため。</p>
	熊本会	<p>(提案議題) 取り組まれている次の広報事業につき、特に工夫されている点など、ご教示頂ければと思います。</p> <p>ホームページの内容。</p> <p>(提案理由) 皆様の事業活動を知ること、より効果的な広報を実施すべく、ご教示頂ければと思います。</p>
	宮崎会	<p>(提案議題) 1. ホームページについて</p> <p>①運用費</p> <p>②コンテンツ</p> <p>③アクセス数</p> <p>(提案理由) 新たなホームページの制作を検討しており、その参考としたいため。</p>

<p>回 答 意 見</p>	<p>(3について)</p> <p><b>【福岡会】</b>  パスワードについては全会員共通で(変更もしていません。)  将来的には、退会会員との関係で、定期的に変更していくべきかと思います。</p> <p>無料相談会のスケジュール、研修会の案内、登録関係書類の用紙のダウンロード、  会員名簿等を掲載</p> <p>年間約6万円の維持費を支出しております。</p> <p><b>【佐賀会】</b>  会員情報、イベント時の写真を掲載</p> <p><b>【長崎会】</b>  ホームページの掲載内容としては、(2)についても内容が被る面がありますが、各  会員から提出のあった報告書をもとに掲載しています。他には一般向けには相談会  実施の案内、会員向けには研修会資料などを見れるようにしています。</p> <p>会員専用パスワードは全会員が統一のものを使っています。又、定期的に変更す  るということはしていません。</p> <p>ホームページの運用費は年間で約5万円程です。</p> <p>アクセス数については現在調査中ため当日お知らせできればと思っております。</p>
--------------------	---

<p>回 答 意 見</p>	<p>(3について)</p> <p><b>【大分会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの対応について        トップページは「お知らせ」で、一般向けというよりは、会員向けの色が濃いことを、時々報告しています。        会員の広場では、「マンスリーおおいた」と題して、受任理事会の内容をその都度報告しています。あとは、総会議事録等、必要なものをその都度アップしています。</li>   <li>・ 特に工夫している点        すみません、特に思い当たることはありません。</li>   <li>・ 運用費        保守管理費月額10,000 円（税別）×12 か月分        その他、作業費用が出た場合は別途お支払しています。</li>   <li>・ コンテンツ        一般向けにはトップページにて、調査士及び業務の紹介。        会員向けには、会務スケジュール、過去に行った法務局との協議会における、協議内容をまとめたものの公開。        93 条報告書ソフト及び記載例、各市町村等への境界確認申請書・確認書及びその要領などのダウンロードなど。</li>   <li>・ アクセス数        9月のページビュー 2338</li> </ul>
--------------------	---

<p>回 答 意 見</p>	<p>(3について)</p> <p><b>【熊本会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスワード配布について 個々のパスワードを配布しています。費用については、現在のホームページ作成費用に含まれているようです。定期的な変更は行っていません。</li> <li>・ホームページの運用費 年間 240000 円</li> <li>・コンテンツ 特にかわったものではありません</li> <li>・アクセス数 わかりません</li> </ul> <p><b>【鹿児島会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に数回程度の更新。</li> <li>・各部の内容については、各部で更新。(9 3 条調査報告書のダウンロード等)</li> <li>・パスワードは全員共通。大分会提案理由は一理ありと思われる。</li> <li>・SNSで無料相談会の告知を行っている。</li> <li>・ホームページの運用については外部委託で運用費は、現在は年37,800円。</li> </ul>
--------------------	---

<p>回 答 意 見</p>	<p>(3について)</p> <p><b>【宮崎会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(大分) パスワードは共通/PWは変更していない。</li> <li>・運用費 更新作業12万/年 サーバーレンタル5千円/年</li> <li>・宮崎会のコンテンツ       <ul style="list-style-type: none"> <li>①土地家屋調査士の業務内容</li> <li>②情報公開 定時総会議事録(現在は未掲載)/懲戒処分</li> <li>③役員に関する情報/支部別の会員情報</li> <li>④会員広場/リンク</li> </ul> </li> <li>・今後の改善計画       <ul style="list-style-type: none"> <li>①直感的で見やすいデザインに一新したい。</li> <li>②県会行事や理事会の予定カレンダーを表示。</li> <li>③安否確認システムをHPに組み込む。</li> </ul> </li> </ul> <p>以上を実現するための経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの制作費100万/安否確認40万</li> </ul> <p><b>【沖縄会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年毎の契約(5万円)で業者にHPの管理をしてもらっている。</li> <li>・簡単に対応できる作業については、事務局で対応している。</li> <li>・全会員共通のパスワードになっています。</li> <li>・定期的に変更などはしていません。</li> </ul> <p>退会会員については検討しないと聞いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他会とあまり変わらない。(ホームページのコピー参照)       <ul style="list-style-type: none"> <li>①業者への年間サポート費用は、5万円です。</li> <li>②法務局との打合せ会(桐友会連絡会)というコンテンツに協議内容や議事録を掲載しています。</li> <li>③令和元年10月8日時点で214,801件のアクセス数となっています。一般の方からは「境界問題」でネット検索すると相談センターが出てくるそうです。</li> </ul> </li> </ul>
--------------------	---

4	議 題	広報部の活動について
提案議題 提案理由	佐賀会	<p>(提案議題)</p> <p>1. 各単位会又は各支部における広報活動報告をお願いしたい。  ①各単位会での独自イベントの実施状況（司法書士会等との合同でも可）  ②各支部での独自イベントへの補助や助言や対応</p> <p>2. 土地家屋調査士の日（7/31）の無料相談会の実施状況報告をお願いしたい。</p> <p>3. テレビ出演やラジオ出演の各会の現状を知りたい。</p> <p>4. 広報活動予算について情報交換したい。</p> <p>(提案理由) 現在の佐賀県会の広報活動状況が他県会の皆さんとどのような違いがあるか？  今後、佐賀会における参考例や成功例など取り入れできるような内容があるのを期待しております。</p>
	長崎会	<p>(提案議題) 土地家屋調査士のPRの一環として単位会でPRポスター等を作成したことがあるか教えてください。  又、ポスター等ではなくPR活動として何か行っていることがあれば教えてください。</p> <p>(提案理由) 今年度の総会においてポスター作成の要望が会員から上がりました。日行連が有名人をポスターのモデルにして毎年発行しているように、PRポスターなどがあれば掲示もできるし認知度の向上に繋がるのではと思い各会の意見をお聞きできればと思います。</p>
	大分会	<p>(提案議題) 広報の目的（知名度の上昇、仕事の増加等）及び広報の対象（一般市民、不動産業界、官公庁、青少年等）について、どのようにお考えか教えてください。有難いです。</p> <p>(提案理由) 広報部としての活動の在り方や目標等を明確にしたいため。</p>

提案議題 提案理由	熊本会	<p>(提案議題) 「土地家屋調査士」を知らない人に、分かりやすく説明したいのですが、うまく伝えられません。他会ではどのような工夫をされていますか。効果的なワードや、具体的な言いまわしなどあれば、教えていただきたい。</p> <p>(提案理由) 「土地家屋調査士」という職業を知らない、聞いたことがない、読めない人もいるくらい、いつも知名度の低さを痛感します。まずは「土地家屋調査士(とちかおくちょうさし)」という名前を知ってもらうことが、大事だと思いますが、分かりやすく説明することが難しいです。</p>
		<p>(提案議題) 取り組まれている次の広報事業につき、特に工夫されている点など、ご教示頂ければと思います。</p> <p>①相談会の告知方法 ②小学校と連携した授業、公開講座の開催等 ③その他</p> <p>(提案理由) 皆様の事業活動を知ることで、より効果的な広報を実施すべく、ご教示頂ければと思います。</p>
	沖縄会	<p>(提案議題)</p> <p>1. 広報部としての年間事業計画を教えていただきたい。 また、予定や希望があれば教えていただきたい。</p> <p>2. 広報部として会内各部とどのようにかわり、対外へ発信する情報と会員向け発信する情報との住み分けをどのようにしているかを教えていただきたい。</p> <p>(提案理由)</p> <p>1 について 広報部の活動として、他県会ではどのような内容の年間計画を作成しているのか、予定、希望等も考えているか教えていただくことで、次年度以降の事業計画策定の参考とさせていただければと考えているため。</p> <p>2 について 会内には総務部、業務部、社会事業部等の各部があり活動している中で、広報部としてどのようにかわってどの部分の情報を会員又は対外へ発信しているのかを教えていただくことで、広報部活動の参考とさせていただければと思います。</p>

<p>回 答 意 見</p>	<p>(4について)</p> <p><b>【福岡会】</b></p> <p>単位会としての活動は週一回無料相談会を開催しております。</p> <p>各支部のイベントについては、社会貢献活動とみなせる活動には年一回3万円の補助金をだしております。</p> <p>制度広報ポスターを作成しており、法務局、市町村役場、公民館に掲示を行っております。</p> <p>広報の目的としては、一般市民の認知度アップ、により境界立会のお願いの際により受け入れてもらいことを目的としております。</p> <p>相談会の告知方法は、市政日より、HP掲載。</p> <p>来年度は、県会としてのパンフレット・リーフレット作成を検討しております。</p> <p><b>【佐賀会】</b></p> <p>(佐賀会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.①毎月無料相談会の実施（佐賀市）</li> <li style="padding-left: 2em;">②鳥栖支部にて、ロードレースのボランティア活動</li> <li>2. 19件（佐賀県内）</li> <li>3. 7月31日の相談会の告知</li> <li>4. 1549000円</li> </ol> <p>(長崎会)</p> <p>ポスター作成はしたことない</p> <p>(大分会)</p> <p>知名度上昇が目的、仕事の増加はあまり考えてないが、少々色気が出てしまうのが実情。</p> <p>対象は一般市民や物の表題登記の実施？を企む</p> <p>(熊本会)</p> <p>7月31日の新聞広告（毎年）、今年はサガテレビ、テレビ宣伝隊に出演、昨年はFMサガラジオ出演</p> <p>小学校はない。</p> <p>(沖縄会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.会報誌の発行、4月1日、7月31日、10月1日無料相談会の実施、ホームページの更新、高校生対象の出前授業（昨年から）</li> <li>2.一般市民対象向けのみ活動しており会内、会員向けの発信は考えてない。</li> </ol>
--------------------	--



<p>回 答 意 見</p>	<p>(4について)</p> <p><b>【長崎会】</b></p> <p>長崎会の広報活動として一昨年より長崎のイベントである lovefes というお祭りにおいてブース出展を行っております。内容については、測量体験やタオル、ティッシュなどを制作して配布などを行い土地家屋調査士の PR を行っております。又、lovefes は地元のテレビ局とラジオ局が主催で行っているイベントのため、ブース出展の他にラジオ CM、テレビ CM にて協賛名として土地家屋調査士会の名前がでたりするので知名度アップに繋げていければと考えています。本年も 11 月 2、3 日に開催しブースを出すようにしております。</p> <p>他には長崎新聞において新春トップインタビューという企画があり、その企画において会長がインタビューを受けた内容が記事に掲載されることで土地家屋調査士の PR をしております。</p> <p>広報の目的、対象については様々考えがありますが、「土地家屋調査士」という名前の認知度というものがまだまだ世間では浸透していないのが現状かと思えます。まずは対象を絞ることなく「土地家屋調査士」という専門性のある資格があるというものを認識していただき、その先にどのような業務を行っているかなどの興味を持っていただくことが大事ではないかと思えます。</p> <p>相談会の告知方法は web にて行っています。</p> <p>長崎会では昨年小学生での出前講座や工業高校での測量指導を行っていますが、支部対応での実施となっており広報部ではその際の取材等がメインとなります。</p> <p>長崎会の無料相談実施状況、事業計画については別紙資料を添付しますのでご参照ください。</p>
--------------------	---

<p>回 答 意 見</p>	<p>(4について)</p> <p>【大分会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単位会での独自イベントの実施状況        独自のイベントは特に実施していません。        県内催されるリレーマラソン及び一気登山に、数人の会員で作成した調査士と記載あるユニフォームを着用して参加しているぐらいです。</li> <li>・各支部での独自イベントへの補助や助言や対応        各支部で独自のイベントが行われているかも不明であり、補助や助言の要望もありません。</li> <li>・土地家屋調査士の日（7/31）の無料相談会の実施状況        相談件数 14件</li> <li>・テレビ出演やラジオ出演の各会の現状        行ったことはありませんし、今のところ予定もありません。</li> <li>・広報活動予算について        どこまでの予算が分かりませんので、取敢えず純粋に広報活動費として計上されてある金額は51,400円です。</li> <li>・PRについて        ポスターは作成したことはありませんが、かなり興味深いです。</li> <li>・「土地家屋調査士」を知らない人への説明について        当会のホームページ上では、『不動産の「表示に関する登記」と「土地の境界」に関するプロフェッショナル』と記載しています。</li> <li>・相談会の告知方法について        各支部に委ねている状態であり、各支部に確認したところ、ポスターを法務局、市役所掲示し、市報に掲載してもらうのが精一杯の現状です。</li> <li>・小学校と連携した授業、公開講座の開催等について        昨年は大分市内の小学校にて出前授業を行いました。今年も11月末に大分市内の大学において、不動産鑑定士協会・宅地建物取引業協会と共に職業紹介講座を予定しています。</li> </ul>
--------------------	---

回 答 意 見	(4について)	
	【大分会】	
	・広報部としての年間事業計画について	
	主たる事業	具体的計画
	1. 制度広告に関する事項	①新聞広告 憲法記念日、書中(残暑)見舞、新年広告 ②大学において、3土業共同の職業紹介口座の実施
2. ネット広報に関する事項	①ホームページ管理運営体制の充実強化および情報提供	
3. 会報に関する事項	①会報発行 ②ホームページを利用した情報提供	
4. その他	①九州ブロック担当者会同への参加	
	<p>・広報部として会内各部とどのようにかわりについて 現状で、各部とのかかわりはありません。</p> <p>・対外へ発信する情報と会員向けに発信する情報との住み分けについて 現時点では、特に問題となっていないと思われ、対外へ発信する情報が、会員向けに発信する情報と競合してはいないのだろうと推察します。 会員向けに発信する情報としては、連合会及び当会の動向や、業務上必要と考える情報を研修会及びホームページを通じて発信しています。また、連合会より送られてくるメール等を、関係がありそうな部の部長が会員への送信を判断しています。</p> <p>対外へは、役立ちそうな情報を公嘱協会が行う公開セミナーに協賛して、官公庁や一般に向け発信したりしています。</p>	

<p>回 答 意 見</p>	<p>(4について)</p> <p><b>【熊本会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単位会での独自イベント <ul style="list-style-type: none"> <li>震災・不動産トラブル110番</li> <li>法の日無料相談会</li> <li>小学校、測量専門学校での出前授業</li> <li>熊本大学特別講義</li> </ul> </li> <li>・各支部での独自イベント <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での出前授業（歩測、TSを使用した野外授業）</li> <li>司法書士会と合同研修会</li> <li>毎月2回、官民境界についての無料相談会</li> <li>市役所との定期的な協議会</li> </ul> </li> <li>・土地家屋調査士の日（7/31）の無料相談会の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>7月31日、8月1日 熊本市内デパート内にて実施しました。</li> </ul> </li> <li>・テレビ出演やラジオ出演 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施していません</li> </ul> </li> <li>・単位会でPRポスター等を作成したことがあるか <ul style="list-style-type: none"> <li>実施していません</li> </ul> </li> <li>・年間事業計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>部会、委員会</li> <li>会報発行（8月、1月）</li> <li>震災・不動産トラブル110番（メディア広告）</li> <li>法の日無料相談会（メディア広告）</li> <li>小学校での出前授業（広報・社会事業部）</li> <li>イベント、相談会において、担当部と連携し広報活動をしています。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【鹿児島会】</b></p> <p>独自イベントは相談会のみで、2月に専門士業9団体で合同相談会、7月上旬に法務局、司法書士会と合同で相談会、10月1日の法の日的前後に司法書士会、税理士会と合同で県内13会場程度で相談会を開催している。</p> <p>7月31日の調査士の日の無料相談会は県内9支部の支部長の事務所で開催、本年は全ての事務所で相談はゼロとの回答があった。</p> <p>開催方法や告知のあり方の再考が必要と思われる。</p> <p>ポスター等やそれ以外も含めて特に活動はしていない。</p> <p>相談会の告知方法はマスコミ各社や役所等へ告知文の依頼をする程度、予算が限られているので有料の告知はしていない。</p>
--------------------	---

<p>回 答 意 見</p>	<p>(4について)</p> <p><b>【宮崎会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀会 <ul style="list-style-type: none"> <li>1ー① 七士会なんでも無料相談会の開催(年1回 県内3カ所同時開催) ワンストップで対応できるため好評いただいている。</li> <li>1ー② 例えば、地上絵プロジェクト等に対する助言や支援を行っている。</li> <li>2, 毎年, 法務局の協力を得て実施している。(8月初旬)</li> <li>3, なし</li> <li>4, 広報部予算総額85万 うち会報40万/広告宣伝費45万</li> </ul> </li> <li>・長崎会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター作成はなし。</li> <li>・無料相談会への参加</li> <li>・様々なポスターが溢れ, 費用対効果が低いと思う。</li> </ul> </li> <li>・大分会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい課題ですが, 宣伝活動は資金を投じプロに任せるべきではと考えます。 単位会の活動には限界(人・金)があり, 広報部としては各部を横断的に係わり 取材に専念すべきと考えます。 PR対象: 役所や不動産や建築業界が効果的では。 ネガティブな意見かも知れませんが, PRをすればするほど空しい結果になる ような気がしてなりません。個人的にはある程度の知名度(名前は知っている) はあると思いますが, 何をする人なのかという認知度が低いと考えます。そも そも一般人がその人生において我々と接触する機会は一度あるかないかですから仕 方(諦めではない)がないと考えます。</li> </ul> </li> <li>・熊本会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアが浮かびません。</li> <li>①ポスター, 新聞広告</li> <li>②小学校を対象に地上絵プロジェクトを実施</li> </ul> </li> <li>・沖縄会 <ul style="list-style-type: none"> <li>1, 会報の発行/ホームページの運営管理 各種相談会の開催と協力/職業PRプログラム出前授業への支援</li> <li>2, それぞれが縦割りになっているのが現実です。各部を取材するかたちで情報 発信しています。 組織的にスリム化(仕事を減らす)する時期にあると思います。</li> </ul> </li> </ul>
--------------------	---

(4について)

**【沖縄会】**

- ・士業ネットワーク協議会（10 団体）で毎年 1 回無料相談会を開催。
- ・活動資金として支部交付金を補助し、各支部で計画をして動いてもらっているが、広報独自イベントを開催したとの報告は聞かない。過去行ったイベントについては沖縄会名誉会長の久高兼一氏が日調連の会報 9 月号に愛しき我が会へ寄稿しているので見ていただければと思います。
- ・13 会場にて 57 件の相談があった。
- ・テレビやラジオを使った広報活動はほとんど行っていない。
- ・会報出版費（55 万円）、広報諸費（47 万円）
  
- ・無料相談会では沖縄会作成のポスターで広報活動をしています。
- ・各士業団体で無料相談会を開催したり、今年から県が開催する広報活動の場に参加させてもらいました。
  
- ・新聞広告・役所の広報誌や公民館やスーパー等に掲示依頼している。
- ・特に行っていません。
  
- ・会員向けは会員専用のページ内で更新の頻度はありますが、対外向けは内容にもよりますので発信情報は少なく、補助者募集が年間通して掲載されています。

回 答  
意 見

5	議 題	会員の安否確認について
提案議題 提案理由	宮崎会	<p>(提案議題) 会員の安否確認について(担当部署が違うかも知れません。)</p> <p>①自然災害時などにおける安否確認システムの導入を検討していますか。もし導入していれば、コスト面や運用について詳細をご教示いただきたい。</p> <p>②熊本地震や西日本豪雨の際、会員に対する安否確認の具体的な対応についてご教示いただきたい。</p> <p>(提案理由) 参考としたいため。</p>
回 答 意 見	<p>(5について)</p> <p><b>【福岡会】</b> 各支部において把握してもらい、支部長をつうじて県会への報告をしております。</p> <p><b>【佐賀会】</b> ①各支部では対応 しているが広報部 では取扱ってない ②してない</p> <p><b>【長崎会】</b> 広報の担当ではありませんが、安否システムの導入は検討していません。 長崎会は災害対策本部の組織構成や各支部において何かあった場合の緊急連絡網などを作成しています。 しかしながら、雲仙普賢岳の災害があった支部からは、「電話連絡網では実際の災害時に役に立たない。役に立つものを準備しないと意味がない」とのご意見をいただいております。SNS や何か別の方法も検討していく必要があると考えています。</p>	

<p>回 答 意 見</p>	<p>(5 について)</p> <p><b>【大分会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認システムの導入の検討について 現時点では検討していませんが、支部単位ではLINE を使ってグループで安否確認するようにしている支部もあります。</li> <li>・安否確認の具体的な対応について 大分会では、安否確認は支部長に確認を取る程度です。 状況確認は、会員に宛てて被災状況報告書をメールで送り、被災された方からメール又はFAXで返送してもらうようにしています。</li> </ul> <p><b>【熊本会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認システムの導入について 導入検討しておりません</li> <li>・熊本地震の具体的な対応 地震翌日に災害対策本部を立ち上げ、会員向けに安否確認のメール。 支部単位ごと（携帯）電話にて安否確認。</li> </ul> <p><b>【鹿児島会】</b></p> <p>本会では社会事業部が主な担当であるがシステムの導入等特別なことは行っていない。</p> <p><b>【宮崎会】</b></p> <p>議題提供</p> <p><b>【沖縄会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの導入は行っていません。</li> <li>・直接、役員や支部長に電話確認をし、後日、メールで状況報告を会に行ってもらっている。</li> </ul>
--------------------	--



6	議 題	事業継続計画（BCP）について
提案議題 提案理由	宮崎会	<p>(提案議題) 事業継続計画（BCP）について（質問）</p> <p>①緊急時に備えたBCP策定に向けた計画がありますか？</p> <p>(提案理由) 参考としたいため。</p>
回 答 意 見	<p>(6について)</p> <p><b>【福岡会】</b> ありません。</p> <p><b>【佐賀会】</b> 詳細説明をお願いします。</p> <p><b>【長崎会】</b> 災害発生時に際しては、危機管理規則（平成27年制定）に基づいて、被災会 員を支援し、被災者への支援を行うこととしております。災害対策本部を設置し、 情報収集や支援に当たります。 今年度は総務部において大規模災害への対策の検討として「岐阜会のアンケー ト」「熊本地震の冊子」を参考にまずは事務局を維持する為に必要な対策を検討し ていきます。</p> <p><b>【大分会】</b> ・BCPについて 現時点でBCPが議題に上がったことはありません。</p>	

<p>回 答 意 見</p>	<p>(6について)</p> <p><b>【熊本会】</b>  ・ B C P 策定に向けた計画  計画はありません</p> <p><b>【鹿児島会】</b>  不勉強で何も対応していない。  各会の意見を参考にさせていただきたい。</p> <p><b>【宮崎会】</b>  議題提供</p> <p><b>【沖縄会】</b>  ありません。</p>
--------------------	--

7	議 題	認定調査士の取得状況について
提案議題 提案理由		その他
回 答 意 見	<p>(7について)</p> <p><b>【佐賀会】</b>          広報部にて対応はしていないが、          現在42名登録、登録率は38%程度</p> <p><b>【長崎会】</b>          206名中72名が認定調査士を取得しています。</p> <p><b>【大分会】</b>          会員173名中          取得者が71名です。          現在あと2名が結果待ちの状態です。</p> <p><b>【鹿児島会】</b>          会員数 306名          認定調査士登録者 87名          連合会未登録者 20名</p> <p><b>【宮崎会】</b>          会員190名（うち法人会員2）のうち認定調査士88名</p>	



# 令和元年度九州ブロック担当者会同 広報部協議事項の報告

座長 沖縄会 広報部長 近藤哲司

1	議 題	土地家屋調査士制度70周年記念事業について
2	議 題	会報について
3	議 題	ホームページについて
4	議 題	広報部の活動について
5	議 題	会員の安否確認について
6	議 題	事業継続計画（BCP）について

<p>回 答 意 見</p>	<p>広報部の担当者会同を行った内容を報告させていただきます。</p> <p>広報部では、福岡会から池田直之広報部長、佐賀会から高尾賢二広報部長、長崎会から峰昇平広報部部長と小川寛（ひろし）広報部次長、大分会から重石（しげいし）光将（みつまさ）広報部長と大下吉光広報部次長、熊本会から赤星和枝広報部長と後藤俊二広報部理事、鹿児島会から小川兼義広報部長、宮崎会から甲斐達也広報部部長と小堀正太郎広報部次長、沖縄会から私近藤と新城章吾広報部理事の13名が集い、活発な意見交換が行われました。</p> <p>広報部では、各単位会から大きく分けて6項目の議題が提案されました。</p> <p>1番目の議題は土地家屋調査士制度70周年記念事業について、福岡会、佐賀会、長崎会、鹿児島会から、どのような記念事業を計画していますか、との議題が提案されましたが、長崎会が他の侍業及び法務局に声掛けしたソフトボール大会と記念誌の発行を計画している以外では、他会はこれから検討する状態で、計画後に広報活動でかかわっていくとの意見が大半でした。沖縄会は会の創立時期が違うため、予定してしないとの回答です。</p> <p>2番目の議題、会報について、佐賀会、大分会、熊本会、鹿児島会から、会報の現状と対応についての議題が出されました。内容的には発行回数、寄稿文の集約方法、報酬、内容等について提案がありました。意見交換をした結果、会報の発行回数は年1回と2回で半数ずつで、報酬は長崎会が500円のクオカード、宮崎会が1000円の図書券、それ以外の会は2000円から5000円の商品券か現金で支払いしているようです。長崎会さん、宮崎会さん、加えて佐賀会さんは報酬につき再考をお願いしたいと思います。寄稿文の集約には各会とも苦勞されているようですが、例外が熊本会で年2回発行しているにもかかわらず文豪の方が多いため、予算内のページ数にまとめるのに苦勞されているようです。内容については各会同じような更正でしたが、ただ、熊本会は、文字を少なく写真を多くして白黒印刷を全頁カラー印刷にすることによってマンネリ化を防ぐとともに会員はもちろん会以外の配布先からも好評を得ているとの報告がありました。しかも印刷費用は白黒印刷当時とほとんど変わらそうで、他会も見習う要素が大きいとの意見が大半でした。寄稿文の集約方法として特徴的な手法をとっている会は、鹿児島会がリレー調査士という欄で寄稿者が次回の寄稿者を指名する手法をとっていること、宮崎会ではパソコンで全会員をスクロールしてランダムに会長がストップを掛けて当たった方に半強制的に要請している手法をとっていることが印象的でした。</p> <p>3番目の議題はホームページについてで、佐賀会、大分会、熊本会、宮崎会からホームページの対応、工夫、運用費、コンテンツ、アクセス数に関する議題が提案されましたが、各会とも同じような内容の報告がありました。その中で、大分会から退会した元会員がいつまでも閲覧できる環境を懸念していることからパスワードを変更しているかとの議題提案があったが、いずれの会もそこまでの対応をしていないため、</p>
--------------------	---

各会今後の要検討事項となりました。

4番目の議題は広報部の活動について佐賀会、長崎会、熊本会、沖縄会から広報活動の内容、計画等、土地家屋調査士の日の無料相談会の告知方法、結果、知名度上昇の手法、小学校等への出前授業等について議団提案があり、意見交換がなされました。その結果、特徴的な活動をしているのが、福岡会が新聞に公告を載せて週1回無料相談会を実施していることと、制度広報ポスターを作成、配布している事。佐賀会が佐賀市で毎月無料相談会を実施していることと、支部でボランティア活動をしているようです。長崎会では小学校、工業高校での出前授業の他にラブフェスというお祭りにブース出展して測量体験、名前入りのタオル、ティッシュの配布等でターゲットを絞って知名度上昇の活動をされていました。大分会では、数名の会員が調査士という名前入りのユニフォームでマラソン等に参加して知名度アップに貢献しているそうです。熊本会は小学校、専門学校への出前授業を実施したり、熊本大学での特別講義、各支部での独自イベントの実施をしているそうです。鹿児島会は支部単位でのボランティア活動、法務局と司法書士会との共同での無料相談会を年1回、他侍業との合同無料相談会を実施しているようです。長崎会は他の侍業との合同無料相談会の実施、小学校への出前授業、地上絵プロジェクト等に対する助言や指導を行っているとの事でした。

土地家屋調査士の日の相談会の告知方法としては、各会新聞広告で告知しているようですが、佐賀会は新聞広告の他にもテレビ、ラジオに出演して広めたとの報告がありました。沖縄会では、スーパー等の店舗、公民館で掲載してもらったり、多くの会が各市の市政だよりに掲載してもらった告知に効果があるようです。

5番目、6番目として佐賀会から会員の安否確認についてのシステム構築をしているかと事業継続計画（BCP）を策定しているかとの議題提案があり、その理由がホームページの更新を考えている中で議題提案となったようですが、各会いずれも考えて無く、そもそも広報部の担当ではないとの意見が大半でした。

以上のとおり活発な意見交換がなされましたが、広報部の活動はその名のとおり対外・対内的広報が主となりますので、宮崎会が意見するように各部を横断的にかかわり取材した結果を広報すべきであると考えます。

以上です。